

演習Ⅱ

科目ナンバー 8E202
演習系科目 必修 2
単位

玉 真之介

1. 授業の概要(ねらい)

このゼミでは、国連が定めた「家族農業の10年」について、テキストの輪読や農村調査を通じて学びます。それを通じて、ディプロマ・ポリシーのDP1、2、3を習得します。合わせて、情報収集の能力やプレゼンテーション力の習得も目指します。

2. 授業の到達目標

国連「家族農業の10年」が定められた背景について説明できる。
国連「家族農業の10年」が定められた意義について語ることができる。
国連「家族農業の10年」がわが国や外国でどのように取り組まれているか説明できる。
世界の農業生産と家族農業について自分なりの考えを述べることができる。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の議論への参加(60%)、分担した報告内容(20%)、最終レポート(20%)。毎回、報告者に報告内容の評価をフィードバックします。

4. 教科書・参考文献

教科書
小農学会 『新しい小農』 創森社

5. 準備学修の内容

事前に、それぞれの週に行う教科書の章を熟読し、その内容について関心をもつ事項を調べる作業を90分程度行ってください。
授業後は、授業で配布したレジюмеを見直し、ポイントとなる点について教科書を再読して、関心をもった事項を調べる作業を90分程度行ってください。
小レポートの宿題が出た場合には、なるべく早く取り組むようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(テキストの概要と報告分担など)
- 【第2回】 どこの国でも小農
- 【第3回】 国連「小農宣言」と海外の小農評価
- 【第4回】 「百姓・生産者・小農」
- 【第5回】 大は小を兼ねず
- 【第6回】 一般消費者・若者たちと農的暮らし
- 【第7回】 小農とは百姓
- 【第8回】 これまでの総合討論
- 【第9回】 合鴨を活かした食農教育
- 【第10回】 小農学概論
- 【第11回】 小農と農村の再生
- 【第12回】 小農をめぐる最新の議論(1)
- 【第13回】 小農をめぐる最新の議論(2)
- 【第14回】 小農をめぐる最新の議論(3)
- 【第15回】 これまでの総合討論